

社会教育指導者研修会 報告



- 一次第
- 開会行事
 - 点字朗読
宇治市視覚障害者協会 今里 弘美 様
 - 研修Ⅰ 講演
「見えない壁だって、越えられる。」
非営利活動法人 MONKEY MAGIC
代表理事 小林 幸一郎 様
 - 研修Ⅱ ワークショップ
「天才画家と助手」
非営利活動法人 MONKEY MAGIC
代表理事 小林 幸一郎 様
 - 閉会行事

会場 木津川市立上狛小学校 体育館

令和5年11月16日(木)、「山城地方視覚障害者社会教育指導者研修会」を開催しました。今年度は、木津川市立上狛小学校を会場とし、山城地方の視覚障害者団体のリーダー及びボランティア関係団体のリーダー、市町（広域連合）教育委員会の社会教育関係者、各市町村福祉関係者、小学校関係者及び児童という幅広い立場の方々（約110名）に御参加いただき、それぞれの立場から自分にできることは何かを考えるよい機会とすることができました。

－研修会の内容は以下のとおりです。－

開会行事

開会に先立ち、山城教育局坂田局長から、障害者への理解が依然十分に広がっていない現状から、**共に生きる社会（共生社会）を**実現することが重要であること等を交えた、開会挨拶をさせていただきました。



坂田局長 挨拶の様子

研修Ⅱ・ワークショップ

人は、目が見えていることが正しいと思いがちだが、実はそうではない。

目が見えていない人の中には、素晴らしい感性をもっているひとがたくさんいる。目が見えないだけで、できることはたくさんある。

見えないことでできなくなることや恐怖を感じてしまうことで、終わるのではなく、大切なのは見えている『私』が、見えない人に何ができるのか考えてほしい。

と、講師の小林様は力強く話されました。参加者や児童も、自身の生き方に目をむける多変素晴らしい研修会となりました。



小林様によるワークショップの様子

点字朗読



今里様による点字朗読の様子

視覚障害者協会 今里 弘美様に「点字朗読」をしていただきました。今里様には、『ええところ』という本を朗読いただきました。

この本は、1年生のあいちゃんが、「わたして ええところ ある？」という思いから話が始まります。

今里様には、主人公のあいちゃんの揺れ動く思いや気持ちに寄り添いながら、心温まるお話をさせていただきました。

研修Ⅰ・講演

講師の小林様は、東京都出身で、16歳でフリーライミングの魅力に取りつかれ、クライミングの世界へ飛び込まれました。

しかし、28歳で進行性の網膜の病気を発症され、失意の日々を過ごされましたが、絶望を乗り越え2005年、37歳でNPO法人モンキーマジックを設立されました。

現在は、日本各地に障害者クライミングの普及を図るべく、イベント開催や指導、講演会など様々な活動に尽力されています。

小林様による講演の様子



研修会全体の様子



全体の感想を述べていただいている様子



閉会行事



杉田総括社会教育主事が、今里様による点字朗読や小林様の講演・ワークショップ等を受けて、「共生社会の実現は、人々の多様な在り方を相互に認め合える全員参加型の社会」であり、その実現には、「相互に認め合い、気持ちを通じ合わせる事が大切である」とまとめ、研修会を閉じました。

多くの御参加

ありがとうございました。